

第6回揖斐川町消防操法大会

～防火・防災を支える消防団員が操法技術を競う～

5月29日(日)、市場グラウンドで、第6回揖斐川町消防操法大会が開催されました。小型ポンプの部には26チーム、ポンプ車の部には19チーム(計45チーム)が出場し、当日は、雨が降り続く悪条件にもかかわらず、連日連夜にわたって行われてきた、厳しい訓練の成果を存分に披露し、消防操法技術を競い合いました。大会の結果は次のとおりです。

《小型ポンプの部》

優勝	小島分団	第2班
準優勝	胥永分団	第2班
3位	揖斐分団	第3班
4位	大深分団	第1班
5位	大和分団	第4班
6位	大深分団	第2班
7位	揖斐分団	第1班
8位	坂下分団	第2班
9位	小島分団	第3班
10位	小島分団	第1班

《ポンプ車の部》

優勝	大和分団	第1班
準優勝	揖斐分団	第1班
3位	揖斐分団	第2班
4位	胥永分団	第2班
5位	小島分団	第1班



▲ポンプ車の部優勝 大和分団 第1班



▲小型ポンプの部優勝 小島分団 第2班

地域のみんなで憩いの場を

～桜の植樹 胥永地区～

5月4日(水・祝)に胥永地区の住民40人が賀茂神社に隣接する広場で桜の植樹を行いました。

賀茂神社は、勸学祭、春祭り、夏祭り、秋祭りなどが行われ、地域の住民が集う場所です。

今回、植樹した桜の苗木は、池田町の宮地小学校の5年生が、総合的な学習の時間を利用して種から育てた苗木10本で、養基小学校と宮地小学校の学校間交流をきっかけに苗木の贈呈が行われました。地域の大人と子どもが協力して植樹した広場は、地域住民の憩いの場として、明るい地域づくりにつながるでしょう。



▲桜の植樹の様子





▲定植活動の様子（北和中学校校庭にて）

平成23年度の「実のなる木の苗木のホームステイ・植樹活動」が5月6日（金）に北和中学校でスタートしました。（北方・久瀬小学校でも実施。）この活動は、生命の水と森の活動センターとNPO法人揖斐自然環境レンジャーの主催で行われ、野生動物の餌となる実のなる木の苗木を町内の小中学校で育て（ホームステイ）、大きく育った苗木を、徳山ダム上流のコア山に植樹します。

この日は、北和中学校の生徒が、町内の間伐材でプランターボックスを作り、苗木を植えました。この苗木は、10月に徳山ダムの上流地域に植樹される予定です。

野生動物との共生をめざして

「苗木を育てて植樹活動」



▲石原署長から委嘱状を受ける指導員

5月13日（金）、揖斐署の高齢者交通安全指導員の委嘱式と研修会が揖斐川町役場で行われました。同指導員は、高齢者らが交通事故に遭わないように、地域の集会などで事故防止を呼びかけます。委嘱された皆さんは、次のとおりです。

橋本 満さん（小島）
高橋正昭さん（清水）
竹中みねさん（三輪）
長柄健治さん（谷汲深坂）
國枝久夫さん（谷汲岐礼）
駒月作弘さん（春日美東）
藤田宮子さん（春日六合）
竹中敏明さん（西津汲）
高橋正好さん（乙原）
中野郁子さん（西横山）
山上一男さん（坂内広瀬）

高齢者交通安全指導員委嘱式

「高齢者の事故防止を」



▲大勢のお客さんにぎわいました

5月13日（金）、名古屋市長山総合駅で、「岐阜県揖斐川町 旬が命の大特産市」が行われました。

この日は、町内の農業団体など12店が出店し、都会ではめずらしい揖斐川町の特産品を買い求める来場者で賑わいました。

また、観光PRコーナーも設けられ、魅力ある観光資源が紹介されました。

会場には1日で1500人が訪れ、来場者は、「毎年、この時期と秋に行なわれている特産市を楽しみにしています。特に山菜がいいですね。」と話していました。

旬が命の大特産市開催

名古屋で「いび」をPR



▲お茶摘みの様子

5月16日（月）、大和小学校3年生の児童29人がお茶の手摘み体験と工場見学をしました。

この体験は、将来を担う子どもたちに地場産業への理解と愛着を深めてもらうことを目的に「桂茶生産組合」の主催で行われています。

子どもたちは、組合員の方から「二芯二葉」と呼ばれる茶摘み方法を教わり、青々と茂った若葉を丁寧に取り取っていました。30分ほどで4キログラムのお茶が摘まれ、この茶葉からは1キログラムの製茶品ができるそうです。

また、工場見学では、厳しい衛生管理がされ、お茶が製造されていることを学びました。

新茶を手摘み 美濃いび茶

地場産業を学ぶ

岐阜県功労者表彰受賞

〈農業委員としての功績〉

県の発展や福祉の増進に功績のあった方に贈られる、本年度の各界功労者表彰の受賞式が、5月16日（月）にふれあい福寿会館（県民ふれあい会館）で行われ、74人と4団体が表彰されました。

市町村行政の分野で、揖斐川町からは、農業委員としての功績が認められた、羽實正義さん（三倉）と野原定夫さん（胥永）が表彰されました。

羽實さんは21年間、野原さんは20年間の長きにわたり在職され、現在も農家の相談、農業指導などで活躍されています。

受賞おめでとうございます。



▲表彰を受けられた羽實さん（右）と野原さん（左）

小学生が田植え体験

〈春日美束 貝原棚田〉

5月24日（火）、県の「ぎふの棚田21選」に認定されている春日美束の貝原棚田で、春日小学校の全校児童44人が田植え体験をしました。

貝原棚田は、等高線に合わせて細かく作られた美しい形状が特徴です。

300年前から受け継がれてきた田んぼ168枚から構成され、そのうちの3枚の田んぼ（約500平方メートル）で田植えを行いました。

子どもたちは、裸足で感じる田んぼの水や泥の感触に「冷たい」や「動きにくいけど楽しい」などの歓声を上げていました。

9月には、稲刈りが行われる予定です。



▲歓声を上げながら田植えをする児童

合同水難救助訓練

〈揖斐郡・本巣消防〉

5月24日（火）、根尾川の谷汲長瀬地区に架かる「万代橋」付近で、揖斐郡消防組合と本巣消防事務組合の合同水難救助訓練が行われました。

この訓練は、釣り人や遊泳者が増える夏を前に両組合が毎年合同で実施しています。訓練には、関係者約110人が参加し、行方不明者の捜索や負傷者の救助などを、潜水隊や救助工作車のクレーンを使って行いました。

また、訓練の最後には、県防災航空隊のヘリコプターも参加し、上空からの捜索や負傷者の収容などを行い、相互の連携を確認し、夏場の水難事故に備えました。



▲潜水隊による救助訓練の様子

花と緑のまつり開催

5月28日（土）から29日（日）の2日間にわたって「いび花と緑のまつり2011」が、揖斐川町中央公民館で開催されました。

この催しは、花や緑を通して地域住民との交流や住みよい町づくりを進めることを目的としています。

会場内には、花木の寄せ植えや色鮮やかなサツキ、ひょうたんの置物など約200点の作品が展示されました。

駐車場では、山野草教室、寄せ植え教室のほか、花木に関する相談コーナー、物産展などが行われ、多くの皆さんで賑わいました。



▲寄せ植え華道教室の様子



▲グループで意見交換の様子

5月28日(土)、久瀬公民館で「地域リハビリテーション研修会」(山びこの郷主催)が行われました。

この研修会は、地域で暮らす人々の介護や生活、支援などを考え、他の地域の人々と情報交換をすることで、様々な知恵を共有し、よりよい生活を送ることを目的に開催されました。

「安気にコロナと住み慣れた地域で最期を迎えるためには」をテーマにして、7つのグループで意見交換が行われ、地域での取り組み事例の発表などが行われました。

地域リハビリテーション研修会



▲美しい河川を守り受け継いでいきます

5月29日(日)、町内4会場で「揖斐川流域クリーン大作戦」が行われ、雨が降るあいにくの天候の中、約1500人が参加しました。

この取り組みは、「きれいな水を次の世代へ」をスローガンに、いびがわみずみずエコステーションを始めとする町内のNPO団体と漁業協同組合などの主催で平成12年から行われています。

参加者は、空き缶やペットボトルなどのゴミを拾い、清掃活動終了後には、アユやアマゴの放流と水質調査が行われました。

揖斐川流域クリーン大作戦



▲種まきしたトウモロコシの収穫が楽しみです

5月21日(土)、極楽寺にある「NPO法人いびがわみずみずエコステーション体験農園」で、第1回いび地域環境塾「トウモロコシの種まき」が行われ、揖斐郡内の親子約130人が参加しました。

約700平方メートルの畑の土にはNPO法人の堆肥化ステーションで作られた、生ごみを利用した堆肥がすき込まれています。

当日は、JAいび川の職員による指導のもと種まきが行われました。

このトウモロコシは、8月に収穫される予定です。

いび地域環境塾は、自然や環境をテーマにした体験学習活動を年間12回行います。

第1回いび地域環境塾

トウモロコシの種まき



▲実行委員会総会の様子(揖斐川町中央公民館)

6月5日(日)、揖斐川町中央公民館大ホールで、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会揖斐川町実行委員会第3回総会」が行われました。

この日は、各種関係機関・団体・地元組織の方々が集まり、専門委員会の審議決定事項や平成22年度決算、平成23年度予算の審議などが行われました。

また、揖斐川町で開催されるカヌー競技の岐阜県国体強化選手^{とうてつべい}の紹介もあり、カヌーシラローム男子の加藤哲平選手とカヌーワールドウオーター男子の渡辺正浩選手^{わたなべまひろ}が会場に駆け付け、国体に向けての意気込みを話していただきました。

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会

揖斐川町実行委員会第3回総会

いびがわ健康福祉フェア 2011 開催

5月22日(日)、揖斐川町中央公民館で、「つなげていこう みんなのこころ」をテーマにいびがわ健康福祉フェア(主催同実行委員会)が開催されました。フェアでは、健康福祉団体の活動状況が報告され、参加者は健康福祉、健康づくり、介護予防について学んだり体験したりしました。

展示部門 では、揖斐川町社会福祉協議会が募集した児童生徒の福祉標語・習字の作品や福祉施設利用者の作品などの展示がありました。



▲応募作品の展示

オープニング では、入賞された児童生徒に表彰状が授与されました。その後、いび川児童合唱団、津軽三味線などのミニコンサートが披露されました。



▲入賞者への表彰状授与

体験部門 では、手話、点字、ゆる体操、車いす、心肺蘇生法、減塩味噌汁の試飲など、いろいろな体験をするスタンプリーに多くの方が参加されました。



▲車いすの体験

バザー部門 では、屋外のテントで、授産所製品・各種バザーの販売や非常食、綿菓子、お餅の無料配布が行われました。



▲お餅の無料配布

大ホール では、平成24年度に開催されるぎふ清流国体・清流大会のPRキャラクター「ミナモ」と一緒にかわいい園児たちがミナモダンスを披露しました。



▲幼児園児のミナモダンス

エンディング では、小寺敏秀さんによるギター演奏で社会福祉協議会のボランティアの方々や来場者の皆さんとで合唱をしました。



▲エンディング(合唱)